

県外派遣報告書

審判員名	長谷川隆司	所属	中体連
大会名	平成27年度 関東中学		
期間	平成27年8月6日(木)～8日(土)		
会場	宇都宮市体育館、鹿沼総合体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月6日(木)	審判会議、1回戦	宇都宮市体育館、鹿沼総合体育館	
8月7日(金)	2、3回戦	宇都宮市体育館、鹿沼総合体育館	
8月8日(土)	準決、決勝	宇都宮市体育館	
会議 講義 内容			
<p>安西関東審判長：自分の割り当てられた試合をしっかりと吹くこと。ベストを尽くすこと。体調管理をしっかりとすること。TO、フロアキーパーとコミュニケーションをとること。TOのトラブルは審判が目配り気配りをして未然に防げることもあるはず。</p> <p>審判ミーティング 伊橋隆浩氏：ファウルの判定について基本的な考えについてイラストを使って説明をしていただきました。 特にノーマルバスケットボールポジション、シリンダー、リーガルガーディングポジションについて ・シュート中の接触、フェイク後の接触、ピボット中の接触について ・スクリーンプレイ、ポスト、リバウンドについて ・オフェンスとディフェンスとの距離；ディフェンスは1歩の距離が必要、スクリーンは1～2歩の距離が必要 →マニュアルの活用や4原則が大切となる。</p> <p>佐藤弘之氏：大会を通して必要なことについて説明をいただきました。 ・正しく見るために必要なことが4原則 ・判定をするための材料→シリンダー、リーガルガーディングポジションはどうか？ * チームファウル数、チームの意図、エースプレイヤー、残り時間等も考える必要がある。 ・全国大会につながる大会でもあり、引退がかかる大会でもある。誠心誠意審判をすることが大切。このゲームにかける想いがチームや選手にある。 ・本当に強いチームが勝つように手助けをすること、スムーズなゲーム運営をすること。</p>			
実技			
担当試合	期 日	平成27年8月6日	男子
	対戦カード	上河内 VS 烏山	(主審) 副審
	相手審判	木村 勇氏(茨城県)	
ミーティング内容		主任 大山 賢史氏(栃木)	
<p>・試合の入りダブルコールが続いたが、見ていないスペースがあるのでは？ ・3番と4番の境目のエリアについて、協力分担の必要がある。二人で見ていることが多かった。試合中にコミュニケーションが必要である。 ・リバウンド時の手の使い方の判定が必要だった。</p>			

実技				
担当試合	期 日	平成27年8月7日	女子	
	対戦カード	八王子ー VS 坂本	主審	副審
	相手審判	一色 渉氏(茨城県)		
ミーティング内容		主任 桑島 汐織氏(栃木)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ポストマンについての手の使い方の判定ができていた。逆に外からのドライブに対するイリーガルな守り方についての判定が必要であった。 ・判定しようとするあまり、視野が狭くなっていることもあった。広くスペースをとらえられるようにすること。 ・とっさに起こるプレイの判定に課題がある。 ・ゲームの終わり方について、必要な笛を精査すること。 				
全体の感想				
<p>今回派遣をいただき、自分の役割を果たそうと全力で取り組みました。6日の試合はオープニングゲームのため、自分たちがこの大会の基準を作る意識で臨みました。判定をする意識が強く、相手レフリーとの協力することが薄れ、位置取りの問題や予測不足がありました。また、質の悪いプレイを判定することができなかつたり主審としてゲームを管理する上で課題が残りました。</p> <p>7日のゲームは、全国大会決めの割り当てをいただきました。上級審判とのレフリーのため、自分のエリアと役割を果たすことを意識して取り組みました。反省でもあったように、メカニックでの課題より判定の課題を感じました。</p> <p>今大会において、地元栃木県の役員の方々には細部までご配慮をいただき大変お世話になりました。また、今までご指導いただきました皆様にも大変感謝申し上げます。今後も継続してチーム、選手のために誠実に取り組んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。</p>				